

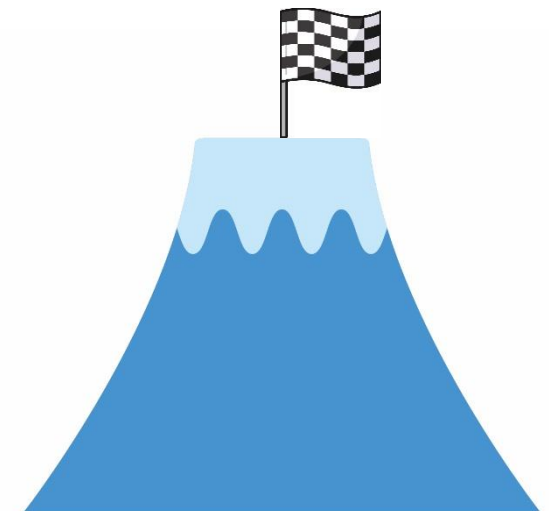
誰が一番に旗を立てるか？

## 自助のご近所づくりー登頂レースのご案内

私共は、コロナの間、ずっと自助を追究してきました。そしてこのほど、とりあえずの登頂の道筋が見つかりました。

舞台は50世帯のご近所。そこに在住の当事者、例えば高齢で一人暮らしの女性が、民生委員などのサポートで自助マップを作る。同じご近所で、もう1人の一人暮らしの女性が同じことをする。

その後、2人と民生委員は、できたマップを突き合わせて、どんなことが見えてきたか、自分たちや他の当事者の問題を解決するために、これからどんなことができるかを話し合う。これが事実上の「支え合いマップ」作りとなる。



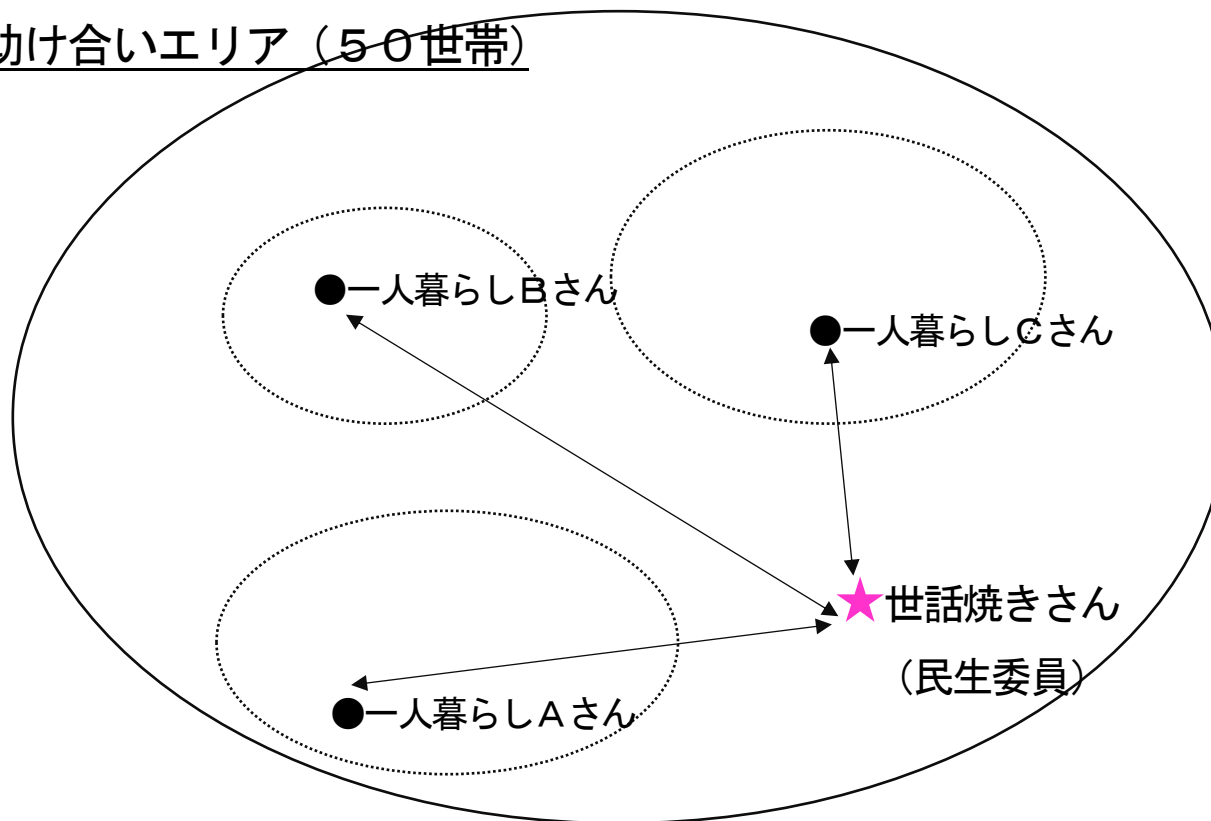
例えば… 有償で庭木の剪定をしてくれる人に依頼している一人暮らしの人がいるということなので、私も紹介してもらおう。私は息子が来る時に買い物をしてくれるので、買い物に困っている一人暮らしの人がいたら、その人の分も頼んであげよう。もっと発展して、自分たちよりももっと気になる人も見つかったので、どうやって支援できるか、話し合おう。本人に声をかけたら、人と話す機会がなくて寂しいというので、2人で訪問することにした。その時に、互いの困り事を出し合い、解決方法を考えることにした。

まあ、こんなことができればいいなあと思ったのですが、いかがでしょうか。要するに**ご近所福祉を当事者が協力し合ってつくる。やり方は、「自助し合う」(相互自助)**です。今まで福祉といえば、とにかくボランティアなど、他助(人にやさしく)ばかり考えていたのですが、その逆もいいのではないかと。皆が自助を目的に連合し、あくまで自分の問題解決をめざす。そこからご近所福祉をつくっていくのです。

**私の考えでは、これができれば、それこそが地域福祉の最終形です。**

**これに、取り組んでみませんか？**

## 助け合いエリア (50世帯)



★参考書としては、以下の冊子が、本研究所ホームページ (<http://juminryu.web.fc2.com/>) のトップページに並んでいます。

①「当事者の手で自助のご近所づくり」②「私の自助マップ」(改訂版) ③自助マップの作成例 (和木町Sさん) ④「自助から地域をつくる」(サポーター用)

★ご相談、レクチャーはいつでも受け付けます。